



藤山台中学校区旧小学校施設の活用のための基本方針

●藤山台中学校区旧小学校施設活用検討懇談会

昨年度、小中学校のPTA会長、町内会の代表者、地区社会福祉協議会会長などの地域の方も参加していただいた藤山台中学校区旧小学校施設活用検討懇談会において、統合後の小学校施設の活用について、地域住民でつくる市民団体からの意見も参考としながら検討をしていただき、活用のための基本方針を市へご提案いただきました。

●基本方針の策定

市は、その提案を受け、検討した結果6月の市議会委員会報告を経て、基本方針を策定しました。

策定に合わせ、6月から7月にかけて、藤山台中学校区の町内会・自治会、地区社会福祉協議会、子ども会、老人クラブ、防犯協会などの代表者に、「藤山台中学校区旧小学校施設の活用のための基本方針」策定の報告を行い、併せて、10会場で説明会を開催したところ194名の方に参加していただきました。



	開催日	場所	参加者数
1	6月15日(月)	水辺憩いの家	29名
2	6月22日(月)	管理事務所集会所	14名
3	6月25日(木)	藤山台町内会集会所	24名
4	6月26日(金)	天使みつばち保育園	7名
5	6月27日(土)	白山憩いの家	8名
6	6月27日(土)	管理組合集会所	8名
7	6月28日(日)	管理組合集会所	8名
8	6月30日(火)	藤山台町内会集会所	23名
9	7月4日(土)	西藤山台小学校	60名
10	7月4日(土)	藤山台町内会集会所	13名

説明会での主なご意見

- 歩いていけるとところに薬局があるような便利なまちにしてほしい。
- 高齢者が多くなっているのに、どうしても「静かに暮らしたい」という声が多くなる。しかし、これではまちとして先細ってしまうので、若い人が住みたくなるような地域にすることに賛成である。
- 住宅地として静かに暮らしてきたし、これからもそうしたいと思っている。
- 高齢者を応援してくれるのはありがたいが、子どもをもっと応援してほしい。
- 若い人をニュータウンに誘導したいなら、子育て環境の良さを押すべきである。
- 運動場など、子どもの遊び場として利用できるけど良いが、悪用されると心配だ。
- 西藤山台小学校では、若者が屋上に勝手に上がったり、夜中まで運動場で花火をしたりしているため、防犯カメラなどの設置も検討してほしい。
- 西藤山台小学校施設を災害時の避難場所や集会所として存続してほしい。
- 民間活用は、心配や不安があるので、全国で良い事例があれば紹介してほしい。
- 自主防災会があるので、防災倉庫があれば一時的な避難所として使える気がする。
- 図書室の拡充は良いが、旧藤山台東小学校に図書室が移ると交通が不便になる。
- 民間活力の導入は良い響きだが、民間は利潤追求であり、住環境の悪化は目に見えている。
- 民間活用を拙速に進めないでほしい。
- 住民の声やコンセンサスは何よりも重要である。今後、活用の検討を進めるにあたり、住民の声をしっかり聞いてほしい。
- 案の段階で住民の意見を聞いてほしい。
- 住民の意見が十分に反映されていない。住民もすべてを実現してもらえとは思っていないが、説明会の意見を無駄にしないでほしい。
- 西藤山台小学校施設の活用についてのアンケートも早急に実施し、その結果を基に、活用を検討してほしい。

説明会でのアンケート結果

【基本方針に掲載された旧藤山台東小学校施設で最も必要だと思うものについて】

- 1位 子育て世帯・高齢者・障がい者などへの地域による包括的な支援の場（57）
- 2位 地域の住民のスポーツ・健康づくりの場（46）
- 3位 多世代にわたる住民の交流及びまちづくりの情報発信の場（45）
- 4位 文化・芸術活動のための場（26）
- 5位 多様な人々の活動・活躍・ビジネスの場（17）
- 6位 その他（12）
（小さなスーパー、老人憩いの家、災害時の拠点、コンビニ、カルチャーショップ、一人親家庭・外国人の支援施設など）
- 7位 特にない（6）



【自由記述の意見(抜粋)】

- ・若い世代が入居したくなるような街にしてほしい。
- ・緑豊かな烏洞公園を残してほしいと思います。
- ・災害時の避難場所は絶対に確保するべき
- ・少子高齢社会で子どもと高齢者の交流が必要。若い人は共働きが今後多くなるので学童保育が必要。例えば、子どもの本やおもちゃの管理、貸出などは高齢者にもできる。
- ・学校でなくなると、車の往来も増えると思うので、歩道など、子どもが安心して歩けるよう整備してほしい。
- ・歩行者ネットワークの動線にウォーキングコースやウォーキングコースの途中の休憩所などがあると良いと思う。
- ・西藤山台小学校の活用を民間に任せる場合、転売を防ぐようにしていただきたい。

説明会を終えて

今回、説明会を開催させていただきましたところ、大勢の住民の皆さんにお集まりいただき、誠にありがとうございました。小学校施設の活用にあたりましては、今後、具体的な内容を検討していくこととなります。

旧藤山台東小学校施設につきましては、図書室を東部市民センターから移転し拡充することや子どもの居場所となるような児童館、高齢者などが安心して住み続けられるように地域包括支援センターの設置、住民の皆さんのつながりができるコミュニティカフェなどの開設を具体的に検討していくこととしております。

また、西藤山台小学校施設は、民間活力を活用していくことを方針としたもので、売却するのか貸し出すのか、既存施設を活用するのか取り壊すかなど、活用の具体案はまだ決まっておりません。運動場や体育館などが残せるのかについても、これから検討していくこととなります。民間活用の際には、基本的に住民の大多数が望まない施設の誘致はしないものと考えています。

なお、住民の皆さんのニーズを捉えることは重要と考えており、今後は、住民の皆さんへ情報発信をしていくとともに、できる限り住民の皆さんと意見交換をしながら、進めていきたいと考えています。

